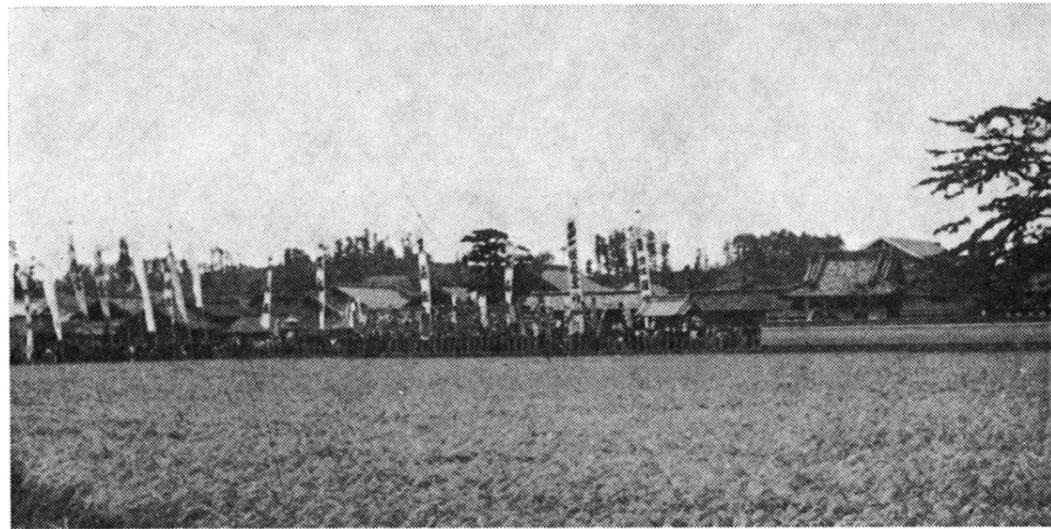


思い出の祭礼風景

48 八幡神社の松並木
 八幡神社から南へ名鉄線の踏み切りを渡ると、樹齢数百年にもなる大きな松並木が数十分にわたり続いていた。この松の並木は八幡の祭礼時に八幡社から天白社まで神輿の渡御が行われる道でもあった。昭和一〇年頃の撮影。

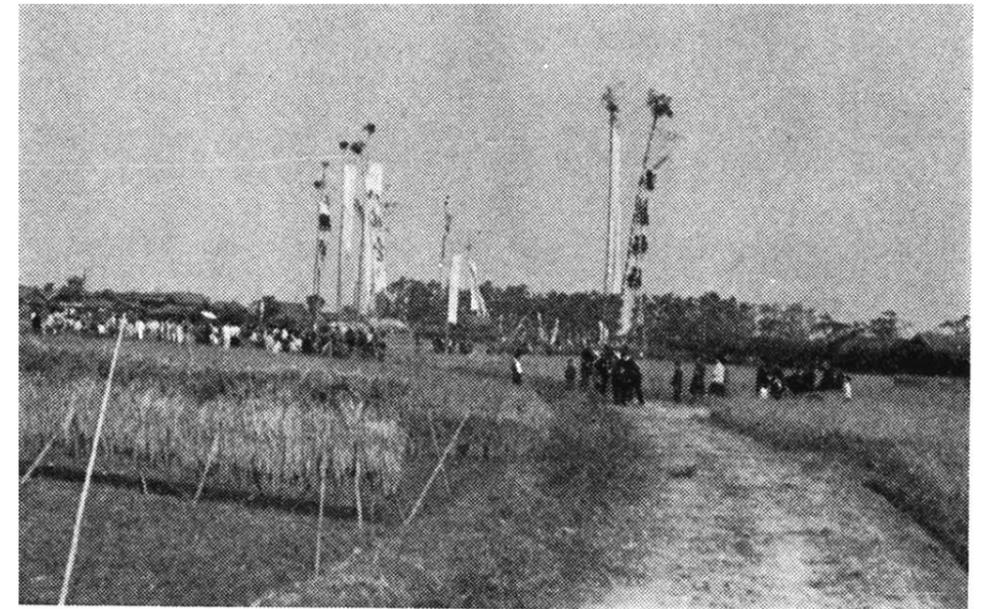


神輿渡御(天白社に到着)



重い太鼓

169 天白社への渡御神事 I
 神輿渡御神事の由来としては、八幡神社の祭神の菅田別命(応神天皇)が年に一度、母君にあたる杉山の神功皇后社のもとへ渡御をされていた故事が伝えられているが、ある年のこと途中で嵐に遭い、途中の天白社へお立寄りになったことから、それ以後は天白社に変わったという伝承がある。写真は八幡神社の松並木をすすむ行列であるが、昭和一〇年代らしく軍国衣裳もみえる。



八幡神社へ向う

167 八幡神社祭礼 I
 八幡神社の祭礼は、寺本四か村(中島村、平井村、堀之内村、廻間村)の祭りである。四か村はもちろん出郷も加わって、十字あげでの、一年中で最もにぎやかな祭となった。神社では、中島の天白社まで神輿の渡御神事を行っている。写真は、十字の屋形と太鼓が神社の前に勢揃いしたところである。昭和六年の写真。



車の上の屋形



八幡神社へ向う屋形